

6. 様式

01 職員動員記録簿

I-1 職員動員記録簿（市様式）

職員動員記録簿

[illegible]

決 裁	課 長	課長補佐	係 長	担 当

(注1) 1日につき1枚作成すること。
(注2) 作業内容は具体的に記入すること。
(注3) 時刻表示は24時制とすること。
(注4) 各課にて決裁後、危機管理課へ送付してください。

02 情報連絡票

情報連絡票

○参集後に各自で記入後、各部でまとめて本部に提出してください。

①報告者氏名 部 班 名		氏名	
		対策部	対策班
②災害覚知日時		年 月 日 ()	時 分頃
③災害覚知場所		☐ 自宅 ☐ 勤務場所 ☐ 外出先	
④参集日時 所要時間		年 月 日 () 時 分 出発 年 月 日 () 時 分 到着 所要時間＝ 時間 分	
⑤参集場所			
⑥参集方法		☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ バイク (cc) ☐ その他 ()	
⑦参集時までに確認できた情報	自宅の状況	☐ 異常なし ☐ 一部損壊 () ☐ 半壊 () ☐ 全壊	
	ライフライン等	☐ 異常なし ☐ 一部不通 (何が?) ☐ 不通 (☐ 電気 ☐ ガス ☐ 水道 ☐ 下水道 ☐ 電話 ☐ その他)	
	自宅周辺の状況	☐ 異常なし ☐ 付近で火災発生 (件) ☐ 全半壊等 (件)	
	家族の状況	☐ 異常なし ☐ 避難済 (避難場所) ☐ 負傷者あり (だれが?) ※ありの場合 (☐ 入院せず ☐ 入院した【 ☐ 軽症 ☐ 中等症 ☐ 重症】)	
	橋 梁 等	☐ 異常なし ☐ 一部通行不能 () ☐ 落橋 () ※橋梁名等 ()	
	河 川 等	☐ 異常なし ☐ 増水 () ☐ 氾濫 () ※河川名等 ()	
	参集経路の状況	☐ 異常なし ☐ 一部通行不能 (付近) ☐ 通行不能 (付近) ☐ 車両渋滞 (から) ☐ 信号機作動不能 ☐ その他事故等 (☐ 十字路 ☐ 交差点)	
鉄 道 関 係	☐ 平常運行中 ☐ 運行停止中 ☐ 踏切遮断状態 ☐ 線路変形状態 (線 付近)		
⑧活動状況		☐ 消火活動＝ 件 (場所：) (内容：)	
※参集途中に消火活動や救助活動に従事した場合、活動場所や活動内容について記入してください。		☐ 救助活動＝ 件 (場所：) (内容：)	
		☐ 応急救護活動＝ 件 (場所：) (内容：)	
		☐ 避難誘導＝ 件 (場所：) (内容：)	

01 被害発生状況等連絡票

被 害 発 生 状 況 連 絡 票				
受 付 日 時	月 日 午前 午後 時 分	被災者 又 は 通報者	住 所 氏 名	電 話
被 害 発 生 場 所				
被 害 状 況				
記 録 者	部 班 氏 名	送付先 送 付 日 時	月 日 午前・午後 時 分 部 班	
関 係 部 処 置 記 録				
本 部 解 散 後 の 対 応				

02 現地調査票

現 地 調 査 票	
調査担当者氏名	部 班 氏 名
調査日時	年 月 日 午前・午後 時 分
被害発生場所	宮崎市
災害の種類	
被害の状況	
必要な応急対策	内容・必要資機材
図面添付	

03 被害箇所一覧表

No.

番号	通報時刻	被害発生場所	災害の種類	調査担当	応急対策実施者	応急対策の概要	要
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		
	月時 日分			班	班		

04 被害報告様式 一覧

救助事務の処理に必要な帳簿書式は、次の災害救助法に定めるところによる。

1. 被害報告様式 第1号様式（火災）
2. 被害報告様式 第2号様式（特定の事故）
3. 被害報告様式 第3号様式（救急・救助事故）
4. 被害報告様式 第4号様式（その1－災害概況即報、別紙－避難勧告等の発令状況）
5. 被害報告様式 第4号様式（その2－被害状況即報）

05 被害報告様式 第1号様式(火災)/災害対策基本法

第1号様式 (火災)

第 報

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名

※ 特定の事故を除く。

火 災 種 別	1 建物 2 林野 3 車両 4 船舶 5 航空機 6 その他
出 火 場 所	
出 火 日 時 (覚 知 日 時)	月 日 時 分 (鎮 圧 日 時) (月 日 時 分) 鎮 火 日 時 (月 日 時 分)
火元の業態・用途	事業所名 (代表者氏名)
出 火 箇 所	出 火 原 因
死 傷 者	死者 (性別・年齢) 人 死者の生じた理由 負傷者 重症 人 中等症 人 軽症 人
建 物 の 概 要	構造 建築面積 m ² 階層 延べ面積 m ²
焼 損 程 度	焼損棟数 全焼棟 半焼棟 部分焼棟 ぼや棟 } 計 棟 焼 損 面 積 建物焼損床面積 m ² 建物焼損表面積 m ² 林野焼損面積 ha
り 災 世 帯 数	世帯 気 象 状 況
消 防 活 動 状 況	消防本部 (署) 台 人 消 防 団 台 人 その他 (消防防災ヘリコプター等) 台・機 人
救 急 ・ 救 助 活 動 状 況	
災害対策本部 等の設置状況	
その他参考事項	

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

06 被害報告様式 第2号様式(特定の事故)/災害対策基本法

第2号様式 (特定の事故)

第 報

事故名	1 石油コンビナート等特別防災区域内の事故 2 危険物等に係る事故 3 原子力施設等に係る事故 4 その他特定の事故	報告日時	年 月 日 時 分
		都道府県	
		市町村 (消防本部名)	
		報告者名	

消防庁受信者氏名 _____

事故種別	1 火災 2 爆発 3 漏えい 4 その他()				
発生場所					
事業所名	特別防災区域	(レイアウト第一種、第一種、 第二種、その他)			
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	発見日時	月 日 時 分		
		鎮火日時 (処理完了)	(月 日 時 分)		
消防覚知方法		気象状況			
物質の区分	1 危険物 2 指定可燃物 3 高压ガス 4 可燃性ガス 5 毒劇物 6 RI等 7 その他()		物質名		
施設の区分	1 危険物施設 2 高危混在施設 3 高压ガス施設 4 その他()				
施設の概要	危険物施設の 区 分				
事故の概要					
死 傷 者	死者(性別・年齢) 人		負傷者等	人 (人)	
			重 症	人 (人)	
			中 等 症	人 (人)	
			軽 症	人 (人)	
消 防 防 災 活 動 状 況 及 救 急 ・ 救 助 活 動 状 況	警戒区域の設定 月 日 時 分 使用停止命令 月 日 時 分	出 場 機 関	出場人員	出場資機材	
		事業所	自衛防災組織	人	
			共同防災組織	人	
			そ の 他	人	
		消 防 本 部 (署)		台	
		消 防 団		台	
		消 防 防 災 ヘ リ コ プ タ ー		機	
		海 上 保 安 庁		人	
		自 衛 隊		人	
		そ の 他		人	
災害対策本部 等の設置状況					
その他参考事項					

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

07 被害報告様式 第3号様式(救急・救助事故)/災害対策基本法

第3号様式 (救急・救助事故・武力攻撃災害等)

第 報

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名

事故災害種別	1 救急事故 2 救助事故 3 武力攻撃災害 4 緊急処理事態における災害			
発生場所				
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	覚知方法		
事故等の概要				
死 傷 者	死者(性別・年齢) 計 人 不明 人	負傷者等 重 症 人(人) 中 等 症 人(人) 軽 症 人(人)		
救助活動の要否				
要救護者数(見込)		救 助 人 員		
消防・救急・救助 活 動 状 況				
災害対策本部 等の設置状況				
その他参考事項				

(注) 負傷者欄の()書きは、救急隊による搬送人員を内書きで記入すること。

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

08 被害報告様式 第4号様式(その1-災害概況即報)/災害対策基本法

第4号様式 (その1)

(災害概況即報)

消防庁受信者氏名

災害名 (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

災害の概況	発生場所							発生日時	月 日 時 分					
被害の状況	人的被害	死者		人	重傷		人	住家被害	全壊		棟	床上浸水		棟
		不明		人	軽傷		人		半壊		棟	床下浸水		棟
									一部破損		棟	未分類		棟
	119番通報の件数													
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況		(都道府県)				(市町村)							
	消防機関等の活動状況		(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲で記入すること。)											
	自衛隊派遣要請の状況													
その他都道府県又は市町村が講じた応急対策														

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

都道府県名 ()

[illegible]

資料 6-11

09 被害報告様式 第4号様式(その2-被害状況即報)/災害対策基本法

第4号様式 (その2)

[illegible]

※1 被害額は省略することができるものとする。

※2 119番通報の件数は、10件単位で、例えば約10件、30件、50件(50件を超える場合は多数と記入すること。

10 地震被害概況報告書

地震被害概況報告書

留意事項

- 1 緊急報告事項は、発見次第報告すること。
- 2 建物被害は、概況にとどめることとし詳細な報告の必要はない。

1 調査区番号	2 調査員氏名
3 町名・番地（調査範囲）	

< 緊急報告事項 >

人 的 被 害	4 家屋倒壊等による生き埋め並びに対応機関の有・無
	5 負傷者の有・無
	6 避難住民の有・無、並びに動向
	7 避難経路の有・無
火 災	8 火災発生の有・無、並びに消火活動の有・無
	9 延焼の恐れ、その他の状況

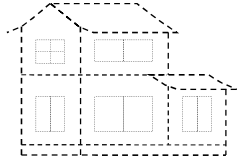
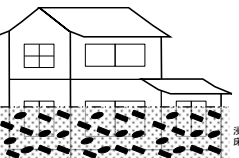
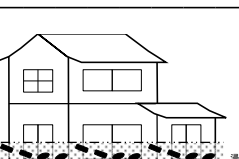
< 応急的報告事項 >

避 難 所 ・ 建 物 等 の 被 害	10 避難所（公園、学校等）の状況
	11 建物の被害状況
	12 ライフラインの被害状況
	13 道路、鉄道施設の被害状況

11 住家被害認定調査票(水害木造・プレハブ第1次)[抜粋]

住家被害認定調査票 水害木造・プレハブ第1次A(外力による一定以上の損傷あり)		調査票番号	3 配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日	平成 年 月 日			
1 調査時	: ~ :			
調査員				
所在地				
世帯主				

2 住家	☐ 住家である(居住のために使用されている)		いずれかに該当 該当しない項目がある 「5」～「7」すべてに該当	☐ 判定へ(全壊) 本調査票以外の適切な調査票を利用
4 外観	☐ 住家全部が倒壊 ☐ 住家の一部の階が全部倒壊 ☐ 一見して住家全部が流失 ☐ 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没			
5 構造	☐ 木造・プレハブである			
6 階高	☐ 住家が戸建ての1～2階建てである			
7 外力	☐ 住家に津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突等の外力が作用することにより、「外壁」及び「建具」の損傷程度が50～100%(程度Ⅲ～Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷がある			

8 浸水深				
	住家流失 又は 床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	☐
	床上1m以上 1.8m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	☐
	床上1m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 20%以上	半壊	☐
	床下浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 20%未満	半壊に至らない	☐

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		☐ 半壊に至らない	☐ 半壊	☐ 大規模半壊	☐ 全壊

12 住家被害認定調査票(地震木造・プレハブ第1次A)【抜粋】

住家被害認定調査票		調査票番号		配置状況 ■判定した住家の範囲が分かるように記載							
地震木造・プレハブ第1次A 調査日 平成 年 月 日											
1 調査時 : ~ :											
調査員 :											
所在地 :											
世帯主 :											
2 住家 ☐住家である(居住のために使用されている)											
4 応急危険度判定 危険 注意 調査 不明 ■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記											
5 外観		☐ 住家全部が倒壊 ☐ 住家の一部の階が全部倒壊 ☐ 一見して住家全部が流出又はずり落ち ☐ 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 ☐ 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断				いずれかに 該当	☐判定へ (全壊)				
6 傾斜		測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上 (下げ振り120cm の場合)	☐判定へ (全壊)		
7 躯体		☐ 基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)						損傷率 75%以上	☐判定へ (全壊)		
8 基礎		損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%			
9 壁		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%			
10 屋根		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%			
傾斜無		無被害	0	0	0	0	0	0			
傾斜有		程度Ⅰ	1	2	3	5	6	8			
傾斜有		程度Ⅱ	2	4	8	11	15	19			
傾斜有		程度Ⅲ	4	8	15	23	30	38			
傾斜有		程度Ⅳ	6	11	23	34	45	56			
傾斜有		程度Ⅴ	8	15	30	45	60	75			
傾斜有		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
傾斜有		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
傾斜有		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
傾斜有		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
傾斜有		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
【損害割合算出表】 (注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合「計あ」の値を、2cm以上の場合「計あ」又は「計い」のうち大きい値を住家の損害割合とする。											
傾斜無		8基礎	+9壁	+ 10屋根	= 計あ	傾斜有		6傾斜	+ 10屋根	= 計い	
傾斜無						傾斜有		1 5			
判定		損害割合		20%未満		20%以上		40%以上		50%以上	
判定				□ 半壊に至らない		□ 半壊		□ 大規模半壊		□ 全壊	

13 住家被害認定調査票(風害木造・プレハブその1)【抜粋】

住家被害認定調査票

風害木造・プレハブ-1

調査票番号

■判定した住家の範囲が分かるように記載

調査日

平成 年 月 日

3

配置状況

1

調査時

:

~

:

調査員

所在地

世帯主

2

住家

☐住家である(居住のために使用されている)

4

外観

☐住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊

該当

☐判定へ(全壊)

5

傾斜

測定箇所

①

②

③

④

平均値

6cm以上(下げ振り120cmの場合)

☐判定へ(全壊)

6

屋根等

☐屋根等に脱落、破損等の損傷が生じておらず、住家内への浸水のおそれがない

該当

☐判定へ(半壊に至らない)

7

躯体

☐基礎又は柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上である

損傷率

75%以上

☐判定へ(全壊)

8

基礎

損傷割合

0%

0

~10%

1

~20%

2

~40%

4

~60%

6

~74%

7

「9」以降へ

【損害割合算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

	a	b	c	d	e	f	g	h
部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	(□傾斜が2cm以上)傾斜を考慮した損害割合
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
11	外壁	10						
12	内壁	10						
13	床(階段含)	10						
8	基礎	10	「8.基礎」の損害割合					
14	柱(又は耐力壁)	15		11%以上で全壊				
15	屋根	15						
16	天井	5						
17	建具	15						
18	設備	10						
		※ B及びCは、調査票「その2」のB及びCの値とする。						
		計		あ	「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」の中で最大の値を住家の損害割合とする。		い	15%
							う	

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		☐ 半壊に至らない	☐ 半壊	☐ 大規模半壊	☐ 全壊

14 被害調査報告【抜粋】

被害調査報告										令和 年 月 日 現在													
番 号	地 区 名	住家の被害					世帯人員			世 帯 構 成										学童数			備 考
		全壊（焼 流失）	半壊	床上浸水	床下浸水	一部損壊	男	女	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小学校 人	中学校 人	高等学校 人	
1	中央東						人	人	人											人	人	人	
2	中央西																						
3	小 戸																						
4	大 宮																						
5	東大宮																						
6	大淀																						
7	大 塚																						
8	櫛																						
9	大塚台																						
10	生目台																						
11	小松台																						
12	赤江(本郷)																						
13	木 花																						
14	青 島																						
15	住 吉																						
16	生 目																						
17	北																						
18	佐土原																						
19	田 野																						
20	高 岡																						
21	清 武																						

01 知事への自衛隊災害派遣要請依頼様式

宮 崎 県 知 事 殿	文 書 番 号 年 月 日
宮 崎 市 長 印	
自衛隊の災害派遣要請について	
自衛隊法第83条に基づき、下記のとおり自衛隊の災害派遣の要請をお願いいたします。	
記	
1 災害の状況及び派遣を要請する事由	
2 派遣を希望する期間	
3 派遣を希望する区域及び活動内容	
4 その他参考となるべき事項	

なお、市長は、通信の途絶等により、知事に対し派遣の要請ができない場合には、直接自衛隊に対し、災害の状況を通知するものとする。この場合、市長は、事後すみやかに知事に通知するものとする。

通 知 先	陸上自衛隊第43普通科連隊長	電話	0986-23-3944
	航空自衛隊新田原基地司令	電話	0983-35-1121

(1) 急患搬送依頼

緊急を要する患者の搬送のために、自衛隊にヘリコプターを依頼する場合においても、依頼後すみやかに県に文書を提出する。

(2) 海難事故に対する派遣要請

海難事故が発生した場合は、海上保安部と連絡をとって、自衛隊の派遣を要請する。

宮 崎 県 知 事 殿	文 書 番 号 年 月 日
宮 崎 市 長 印	
自衛隊の災害派遣部隊の撤収要請について	
年 月 日付第 号により自衛隊の災害派遣の要請を依頼しましたが、下記のとおり撤収要請をお願いいたします。	
記	
1 撤収開始日時	
2 撤収の理由等	

01 避難者受付簿

No. _____

【避難者受付簿】

地 域 名 : _____

避難所名 : _____

開設日時 : _____

閉鎖日時 : _____

配備職員名 : _____

	入所 時間	退所 時間	代表 に○	(ふりがな) 氏 名	住所	年齢	性別	特記事項
1	：	：					男・女	
2	：	：					男・女	
3	：	：					男・女	
4	：	：					男・女	
5	：	：					男・女	
6	：	：					男・女	
7	：	：					男・女	
8	：	：					男・女	
9	：	：					男・女	
10	：	：					男・女	
11	：	：					男・女	
12	：	：					男・女	
13	：	：					男・女	
14	：	：					男・女	
15	：	：					男・女	
16	：	：					男・女	
17	：	：					男・女	
18	：	：					男・女	
19	：	：					男・女	
20	：	：					男・女	

※この情報は、災害業務以外には使用しません。

02 避難者カード

避難者カード		避難所名			
避難区分	避難者 / 在宅被災者	入所日		退所日	
避難形態	避難所 / テント / 車両（ナンバー） / その他（）				
被害状況	全壊 / 半壊 / 一部損壊（床上床下浸水 断水 停電 ガス停止 電話不通） / なし				
特記事項	※病氣や怪我、障がいでの注意点、衣料品や粉ミルク、常備菜等の必要物資、その他特別な要望があれば記入して下さい。				
記入者名		所属自治会			
住所	〒				
メール		親族連絡先			

【避難者情報】 ※該当項目を○で囲むかチェックを入れてください。ご家族が多い場合には、用紙を複数枚使用してください。

	ふりがな 氏 名 携 帯 電 話	年 齢	性 別	病 氣 ・ 怪 我	妊 産 婦	乳 幼 児	障がい者			要 介 護	医 療 機 器	ア レ ル ギ ー	要 避 支 難 援 行 者 動
							身 体	療 育	精 神				
世 帯 代 表 者			男・女										
				食糧・物資	必要（） / 不要								
				安否確認	公開 / 非公開		行方不明						
				情報公開	公共 / 支援団体 / メディア / すべて								
ご家族 同居人 ペット			男・女										
				食糧・物資	必要（） / 不要								
				安否確認	公開 / 非公開		行方不明						
				情報公開	公共 / 支援団体 / メディア / すべて								
			男・女										
				食糧・物資	必要（） / 不要								
				安否確認	公開 / 非公開		行方不明						
				情報公開	公共 / 支援団体 / メディア / すべて								
			男・女										
				食糧・物資	必要（） / 不要								
				安否確認	公開 / 非公開		行方不明						
				情報公開	公共 / 支援団体 / メディア / すべて								
		男・女											
			食糧・物資	必要（） / 不要									
			安否確認	公開 / 非公開		行方不明							
			情報公開	公共 / 支援団体 / メディア / すべて									

【転出先情報】

住所	〒	連絡先	
----	---	-----	--

※避難所への入所時に記入して下さい。避難所での生活支援に必要ですので、必ず提出をお願いします。

※提出された情報は、災害対策本部及び避難所運営に最低限必要な範囲で共有します。また、被災者台帳に利用します。

03 避難者名簿

地域名： _____ 避難所名： _____
 開設日時： _____ 閉鎖日時： _____
 配備職員名： _____

入所・退所 区分	入・退所日	入/退 時間	代表 に○	氏名	ふりがな	住所	年齢	性別	連絡先電話番号	情報公開への同意 (○・×)	特記事項
1	/	:						男・女			
2	/	:						男・女			
3	/	:						男・女			
4	/	:						男・女			
5	/	:						男・女			
6	/	:						男・女			
7	/	:						男・女			
8	/	:						男・女			
9	/	:						男・女			
10	/	:						男・女			
11	/	:						男・女			
12	/	:						男・女			
13	/	:						男・女			
14	/	:						男・女			
15	/	:						男・女			
16	/	:						男・女			
17	/	:						男・女			
18	/	:						男・女			
19	/	:						男・女			
20	/	:						男・女			

04 物品受払簿

避難所名No. _____

月 日	受付時刻	受払物品の細目	個数	避難者への配分内容	備考	担当者
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

05 避難所状況把握書

避難所状況把握書

年	月	日	時	分現在	受信時刻	月	日	時	分
避難所名					発信者名				
受信機関					受信者名				
◎避難者数			男 () 名		女 () 名		計 () 名		
(内訳)									
			男		女				
乳児			() 名		() 名		幼児		
小・中学生			() 名		() 名		高校・大学生		
成人			() 名		() 名		65歳以上		
◎負傷者数緊急治療及び介護を要する者 () 名 (状態)									
◎必要とする食糧・備品等 食糧・飲料水 () 人分粉ミルク () kg 毛 布 () 枚 その他 ()									
◎施設の状況 電気 (正 常・停電中) 電話 (正 常・故障中) 上下水道 (正 常・断水中) ガス (正 常・故障中)									
(その他)									

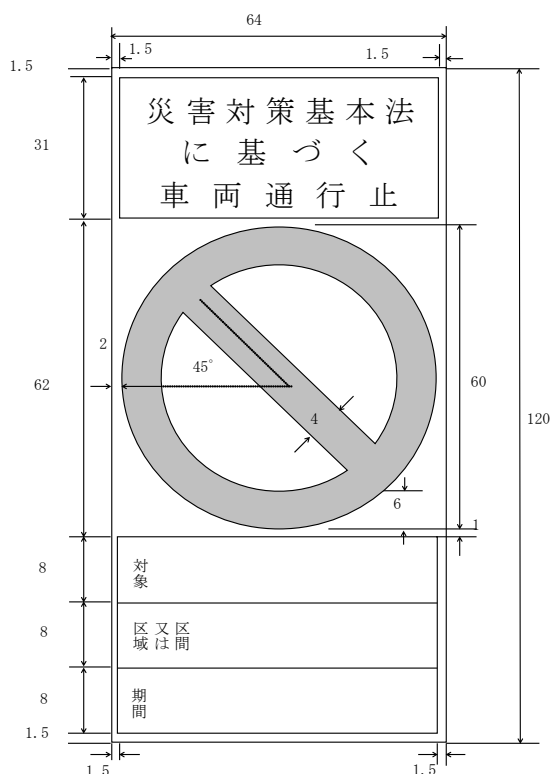
01 救護所開設状況報告

救護所開設状況報告

年		月		日		時		分		現在		受付日時		月		日		時		分					
発信班		部																				発信者			
受付班		本部																				受付者			
救護所																									
従事者数				軽症		中等症		重症		計		要搬送者													
医師	看護師	その他	計																						
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人				
開設状況																									
処理状況																									
必要物資等																									

01 緊急通行車両の証明書等(様式1～4)

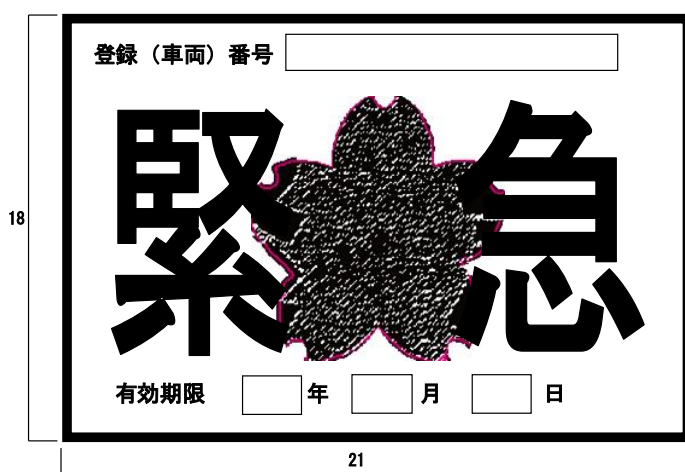
様式1 (標示)



備考

- 1 色彩は文字、緑線及び区分線を青色、斜めの帯及び枠を赤色、地を白色とする。
- 2 緑線及び区分線の太さは、1センチメートルとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。
- 4 道路の形状または交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の2倍まで拡大し、または図示の寸法の2分の1まで縮小することができる。

様式2 (標章)



備考

- 1 色彩は、記号を黄色、緑及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両番号)」、「有効期限」、「年」、「月」、及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

6. 様式
【緊急輸送】

様式3（証明書）

第 号		年 月 日	
緊急通行車両確認証明書			
		宮崎県公安委員会 ㊟	
番号欄に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）			
使用者	住 所	() 局 番	
	氏 名		
通 行 日 時			
通 行 経 過	出 発 地	目 的 地	
備 考			

（注）用紙は、日本工業規格 A5 とする。

様式4（確認申請書）

地震防災 災 害 応急対策用 原子力災害 国民保護措置用			
緊急通行車両等確認申請書			
		年 月 日	
宮崎県公安委員会 殿			
申請者住所 （電話） 氏名 ㊟			
番号欄に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）			
使用者	住 所	() 局 番	
	氏 名		
通 行 日 時			
通 行 経 過	出 発 地	目 的 地	
備 考			

（注）用紙は、日本工業規格 A5 とする。

様式第 18 号（第 20 条、第 21 条関係）

第 号

緊 急 自 動 車 指 定 証
道路維持作業用自動車 届出確認証

年 月 日

宮崎県公安委員会

1 用 途

2 自動車を使用する
者の住所及び氏名

3 自 動 車 の 種 類
車 名 及 び 型 式

4 車 台 番 号 又 は
自 動 車 登 録
（ 車 両 ） 番 号

5 自動車の使用の本
拠の位置及び名称

（宮崎県道路交通法施行細則）
（緊急自動車等の指定）

01 要搜索者名簿

要搜索者名簿

No. _____

整理 番号	届出月日	要 搜 索 者							出 者			備考
		住 所	氏 名	年 齢	性 別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	着衣その他の特徴	住 所	氏 名	行方不明者との関係 (連絡先)	
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											

02 遺留品処理票

遺留品処理票

整理番号	第 号	取扱日時	年	月	日	時	分
		取扱者	収容所・保管所 氏名				
被保管者 住所・氏名	住 所 氏 名	遺 留 品					
		品 名					数 量
送付先	保管所						
送付月日	年 月 日						
保管替先	保管所						
保管替日	年 月 日						
引渡月日	年 月 日						
受取人の 住所・氏名	住 所 氏 名 印						
立会人の 住所・氏名	住 所 氏 名						
摘 要							

01 罹災証明交付申請書及び罹災証明書

様式第1号(第3条、第4条関係)

罹 災 証 明 書 交 付 申 請 書

(申請日) 年 月 日

宮崎市長 殿

申 請 者 (罹災者)	住所 〒	電話番号
	(現在の連絡先)	電話番号
	氏名	

世帯構成員	氏名	続柄	生年月日	備考

代理人	住所 〒		電話番号
	(現在の連絡先)		電話番号
	氏名		
	申請者との関係	☐ 同一世帯者（続柄） ※要委任状 ☐ そ の 他（ ） ※要委任状	

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

罹災住家*の所在地	
-----------	--

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。

自己判定方式による申請 (希望する場合)	○自己判定方式では、被害箇所を撮影した写真による確認をもって調査に代えるため、現地調査は行いません。 ○自己判定方式で交付できる罹災証明書は、住家の被害の程度が「準半壊に至らない（一部損壊）」に該当する場合のみとなります。 ☐ 上記の事項に同意の上、自己判定方式を希望します。
-------------------------	---

様式第4号（第5条関係）

罹災証明書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏 名	続 柄	生年月日

罹災原因	
------	--

罹災住家※の所在地	
住家※の被害程度	
浸水区分	

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。

備考	
----	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

※この証明書の「住家の被害程度」について不服がある場合は、市に対し再調査を依頼することができます。

年 月 日

宮崎市長

02 災害義援金品の受領書

災害義援金品の受領書（2枚複写）

*	部 長	課 長	係 長	取扱者

受 領 書

1 金 額 ¥

2 品 名

ただし、

上記のもの、確かに受領いたしました。

年 月 日

殿

宮崎市長

印

備考

*

住 所	電 話 ー
-----	------------------

* 印は、控えの用紙のみに記入する。